

平成29年8月2日

保護者の皆様へ ～ “必ずお読みください” ～

犬山市立城東中学校長 武内 浩二

7月21日、城東中学校のAさんが亡くなりました。かけがえのない命が失われてしまったことは痛恨の極みであり、教職員一同、大変厳しく受け止めております。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

かけがえのない友人を失うと、お子様の心と体にいろいろな反応や症状が出る場合があります。各ご家庭におかれましても、お子様の様子を注意深く見ていただき、ショックや自責感が強いなど気になる様子が見られる場合には、どうぞ学校にもご相談ください。裏面に、子どもの心のケアについてまとめていますのでご参照ください。

保護者の皆様からスクールカウンセラーへの相談も可能ですので、ご連絡ください。

一般的に、子どもが亡くなる前には、何らかのSOSを発していることがあるようです。ご遺族はもちろんのこと、学校としても、なぜこのような事態になったのか、事実に向き合いたいと考えています。ご遺族のご要望も踏まえ、学校としては、保護者の皆様のご理解を得て、Aさんと一緒に生活をしていたお子様から、何か知っていることがあるかどうかを聞かせていただきたいと考えています。

そこで、「こころ健康調査」と「背景調査」の2種類をお子様・保護者の皆様に、それぞれ実施させていただきます。ご協力よろしく申し上げます。

お子様への「こころの健康調査（生徒用）」については、本日、学校で実施をしました。

保護者の皆様への「こころの健康調査（保護者用）」、生徒・保護者の皆様への「背景調査」については、承諾書にご署名いただいた上で、家庭で行い、全て一緒にご提出ください。体験入学や部活動の際、お子様を通じて提出していただいても構いません。アンケートの提出の際は、お渡しした封筒に、厳封のうえご提出をお願いします。重要な内容ですので、職員室へお届けください。なるべく早く、8月7日（月）までには学校へ提出していただきますようお願いいたします。ご協力が難しい場合でも、承諾書と一緒に白紙で提出してください。

背景調査は、①お子様のアンケート調査と、必要に応じての②聴き取り調査を考えています。

①アンケート調査について

協力いただいたアンケート内容については、分析後、個人が特定できないよう処理した上で、ご遺族へも提供することを念頭に置いています。

②聴き取り調査について

アンケート調査の後、必要に応じてお子様への聴き取り調査を実施する予定です。調査に当たっては、お子様の精神状態やプライバシーにも十分配慮しつつ、心のケアの専門家の協力も得ながら慎重に行ってまいります。また、聴き取り調査を行うお子様の保護者には、あらかじめお知らせいたしますので、協力が難しい場合には、その旨をご連絡ください。

子どもへの調査により集められる情報には、事実が大半ですが、中にはうわさや臆測、事実とは異なる情報が含まれている可能性もあります。そこで、収集した情報を総合的に分析し、判断していきます。調査結果につきましては、慎重に判断し、ご遺族と相談したうえで、今後の学校の取り組みに生かしてまいります。

承諾書

亡くなった本校生徒に係る調査について、その趣旨を理解し、

生徒：調査に、 回答します。 回答を控えさせていただきます。

保護者：調査に、 回答します。 回答を控えさせていただきます。

※いずれかを○で囲んでください。

犬山市立城東中学校
校長 武内 浩二 様
平成 年 月 日

犬山市立城東中学校

年 組

生徒氏名

保護者氏名

背景調査票（保護者用）

去る7月21日に亡くなったAさんのことで、保護者の皆様から情報を集めるためにアンケート調査を実施します。

この調査の目的は、なぜこのような事態になったのか、事実に向き合うこと。そして、二度とこのような悲しい出来事が起きないようにするために、学校として何をどのようにしていくことが必要なのか、考える手がかりを得ることです。

Aさんの死について心当たりがありますか。

ご自分でご覧になったり、Aさんから直接聞いたりしたこと：

（見聞きした内容 　いつ頃に 　見た／聞いた）

ご協力ありがとうございました。

友人の突然の死を知らされた後に、お子様に次のような症状が出る場合があります。

- ・ 眠れない。
- ・ 一旦眠ってもすぐ目が覚めてしまう。
- ・ 恐ろしい夢を見る。
- ・ 亡くなった人のことをしばしば思い出す。
- ・ 防げなかったことに対し、自分を責める。
- ・ 自分も突然死してしまうのではないかと心配になる。
- ・ やる気が起きない。
- ・ いつもぼんやりしている。
- ・ 注意力が散漫になる。
- ・ だれにも会いたくない。
- ・ 不安でたまらない。
- ・ 一人でいるのが怖い。
- ・ 心臓がドキドキする。
- ・ 息苦しい。
- ・ 過呼吸になる。
- ・ 落ち着かない。
- ・ 悲しくてたまらない。
- ・ 涙があふれる。
- ・ 感情が不安定になる。
- ・ コントロールできない怒りを覚える。
- ・ どころなく体がだるい。
- ・ 食欲がない。

これらの症状は、大きな心理的ショックによって起こる普通の反応であって、異常なことではありません。多くは一時的なもので、時間が経つとともに落ち着いていきます。しかし、心配になるほど症状が重い、あるいは長く続く場合は、専門的な判断が必要ですから遠慮なく学校へご連絡ください。本校ホームページでお知らせした通り、相談態勢を整えています。場合によっては、専門の臨床心理士や病院を紹介する準備もしています。

犬山市立城東中学校 Tel 0568-61-0501

また、下記の相談電話もご利用ください。学校とは関係なく相談に応じてくれます。

いのちの電話(毎日24時間・匿名による相談可)	Tel 052-931-4343
あいちこころほっとライン365(毎日9:00~16:30・匿名による相談可)	
	Tel 052-951-2881
チャイルドラインあいち(月~土16:00~21:00・匿名による相談可)	Tel 0120-99-7777

こころの健康調査票（保護者用）

I 現在のお子様の様子について、あてはまる項目の□に✓をつけてください。その他、お気づきの点やご心配な点がございましたら、下の欄にご記入ください。

- 1. 今回のことが頭から離れない。
- 2. よく眠れない。
- 3. 恐ろしい夢を見る。
- 4. なかなか集中できない。
- 5. 怒りっぽくなっている。
- 6. 感情が不安定になる。
- 7. ときどき無感覚（何も感じない状態）になる。
- 8. 気持ちが落ち込む。
- 9. 一人でいるのが怖い。
- 10. 緊張していて、神経質になっている。
- 11. 物音などに対して敏感になっている（ちょっとした音にも驚く）。
- 12. 人に自分の気持ちが分かってもらえない感じがする。
- 13. 人が信じられない。
- 14. 自分を責めてしまう。
- 15. 立ち直れないのではないかと不安になる。
- 16. 食欲がない。
- 17. 息苦しい。
- 18. お腹の調子がよくない。
- 19. 体がだるい。
- 20. 頭が痛い。

〈 お子様の様子についてお気づきの点・ご心配な点等 〉

II 現在のお子様の様子をもとに、次の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。今回の件に関係していても、していなくても結構ですので、知らせてください。

(1) 先生やスクールカウンセラー等に相談したい(話したい)ことはありますか。

1. ある 2. ない

(2) 「ある」と答えた人は、いつ、だれに相談したい(話したい)ですか。

1. なるべく早く()先生に相談したい(話したい)。
2. すぐでなくてもよいが、()先生に相談したい(話したい)。
3. なるべく早くスクールカウンセラーに相談したい(話したい)。
4. すぐでなくてもよいが、スクールカウンセラーに相談したい(話したい)。
5. その他())

お子様の氏名 年 組 番 名前